HG0B041

ホープ　ＭＪ型
メタルジェットガスバーナー
取扱説明書

（株）横井機械工作所

〒463-0002　名古屋市守山区中志段味大洞口2720-1

TEL.052-736-0773　FAX.052-736-0258

目　次

この度はホープＭＪ型メタルジェットガスバーナーをお買いあげいただき誠にありがとうございます。充分な性能を満足していただくため、また安全及び保守・点検等のためこの取扱説明書をよくお読み下さいますよう、お願い申しあげます。
この取扱説明書は施工業者様はもとよりエンドユーザー様まで確実にお届け下さい。

購入時の点検確認

ご注文通りの製品かどうかバーナーの銘板と下記仕様表でご確認下さい。
また輸送中の破損等の有無を点検して下さい。

概　要

ＭＪ型メタルジェットガスバーナーは、キャスタブル耐火物製のバーナータイルを持たなくメタリック製フレームコーンの為、小型軽量で金属加熱、熱処理炉、溶解炉、メッキ炉、取鍋加熱等多用途に適しております。しかもダイレクト点火方式の為、バーナー周辺の配管もシンプルで設備費にコストダウンが計れます。

仕　様

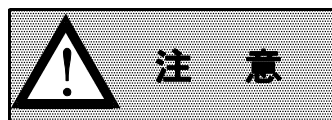
型　式	燃焼容量	接続口径		質　量
	(kW)	空気(A)	ガス(Rc)	(kg)
MJ－1	58	40	$^{3}/_{4}$	18
MJ－2	116	40	$^{3}/_{4}$	18
MJ－3	174	65	1	24
MJ－4	233	65	1	24
MJ－5	350	80	$1^{1}/_{2}$	32
MJ－6	460	80	$1^{1}/_{2}$	32

● 基準圧：ガス　２～１０kPa　　　空気　６kPa

安全上のご注意

取付工事、試運転調整、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用下さい。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「高度の危険」「危険」「注意」として区分してあります。

取り扱いを誤った場合に、極度に危険な状態が起こり得て、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こり得て、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こり得て、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

尚、［注　意］に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しておりますので、必ず守って下さい。

絵表示の意味		例
強制	行為を強制・指示する内容があることを告げるものです。近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。	必ず行う
禁止	禁止の行為であることを告げるものです。 近くに具体的な禁止内容が描かれています。	接触禁止
注意	注意を促す内容があることを告げるものです。 近くに具体的な注意内容が描かれています。	高温注意

必ずお読み下さい

着火動作の前には必ずプレパージして下さい。
特に着火動作を連続で繰り返すと、炉内に溜まったガスで爆発事故を起こす可能性があります。
火炎検出等の安全装置を設置して下さい。

感電注意

点火プラグのスパーク確認等の為、プラグの脱着をする場合は、必ずトランス電源を切ってから、おこなってください。

点火時及び燃焼時に、サイトホールは絶対に外さないで下さい。
※炉内の熱ガスが吹き出すことがあります。

接触禁止

バーナー前板、パイロットバーナー取り付け部周辺は燃焼中特に高温になります、触らないよう注意して下さい。

パッキンについて

1．附属のパッキンは、本バーナーのシール以外には使用しないで下さい。
2．交換した後の古いパッキンは、速やかに袋に入れ廃棄する場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従うこと。尚、焼却処分は行わないこと。

操　作

１）着火前準備

1　すべてのガスコックが閉じていることを確認する。
2　配管の接続が完全に締まっていることを確認する。
3　配管の接続が完全であるか確認する。
4　メインバーナーのバタフライ弁が閉じていることを確認する。
5　リミティングバルブが全閉であることを確認する。

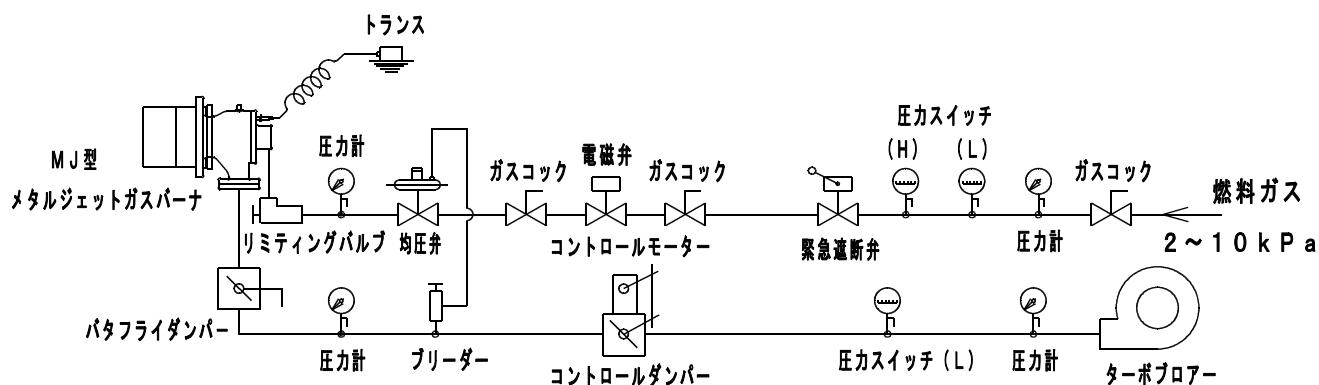
２）初期点火及び調整

1　エアーバタフライダンパーを開き、最小燃焼時エアー圧力(0.2～0.4kPa)に調整する。
2　点火プラグをスパークさせ、ガスコックを全開にして、ガスリミティングバルブを、スローオープンしてバーナーに着火させる。
3　バーナー着火後はガス量の調整を行い適正な空燃比にする。
4　燃焼容量の調整は、エアー用圧力計を見ながらバタフライダンパーで行って下さい。
（定格エアー圧力　6 kPa）別紙Ｐ－Ｑ線図参照

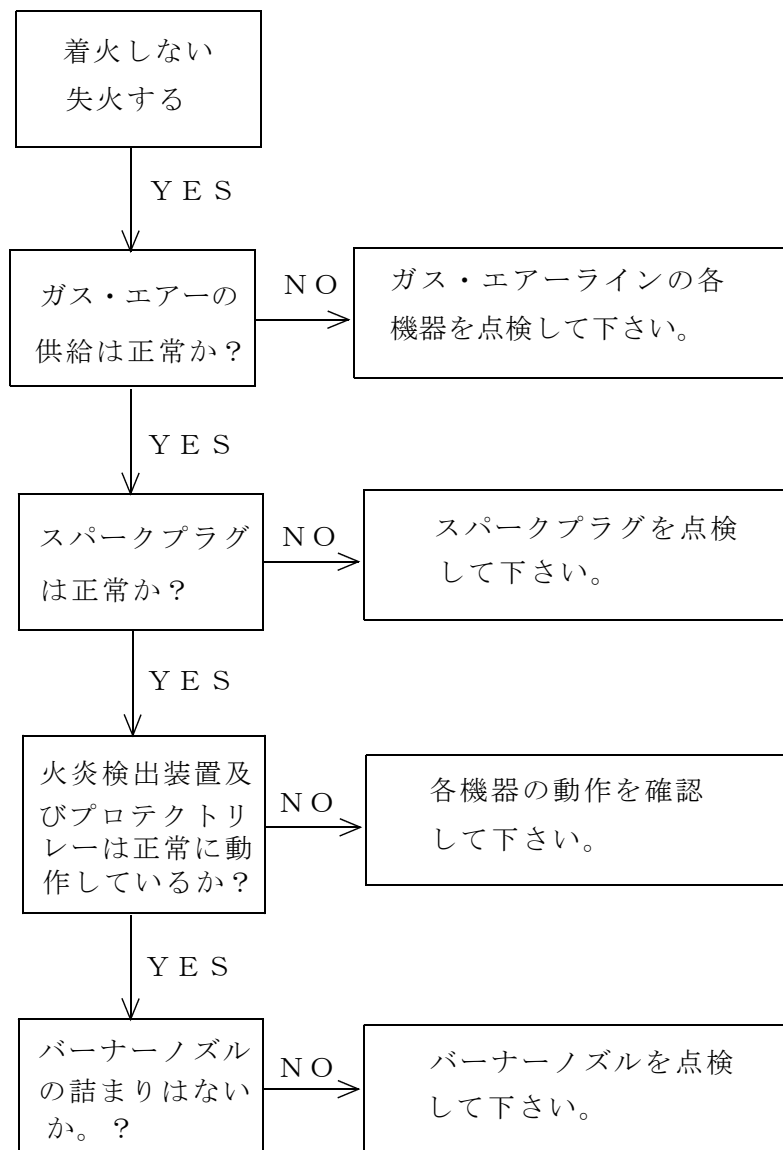
点　検

※点検は炉の冷却後行って下さい。また必ず防護手袋等を着用して下さい。

1　燃焼ブロアー等すべての電源が切れている事を確認します。
2　すべてのガスコックが閉じていることを確認します。
3　ガス配管のユニオン等を弛めます。
4　③ガスボディをしっかり持ちゆっくりと②エアーボディーから外します。この時⑤ガスパイプ⑫スパークプラグ⑥エアーノズルは③ガスボディに連結されており、一体で外れます。
5　③ガスボディを取り外したら⑤ガスパイプのガス穴周辺及び⑫スパークプラグ⑥エアーノズルの焼損が無いかどうか、又、部品の弛みが無いか点検します。
6　①フレームコーン内部に異物が付着している場合は清掃して下さい。尚、①フレームコーンの焼損している場合は、燃焼に不具合をきたす事が多い為、弊社までご相談下さい。
7　⑫スパークプラグのスパーク状態を目視にて確認して下さい。
8　別紙、構造図を参照して下さい。

フローシート

※警告プレートについて

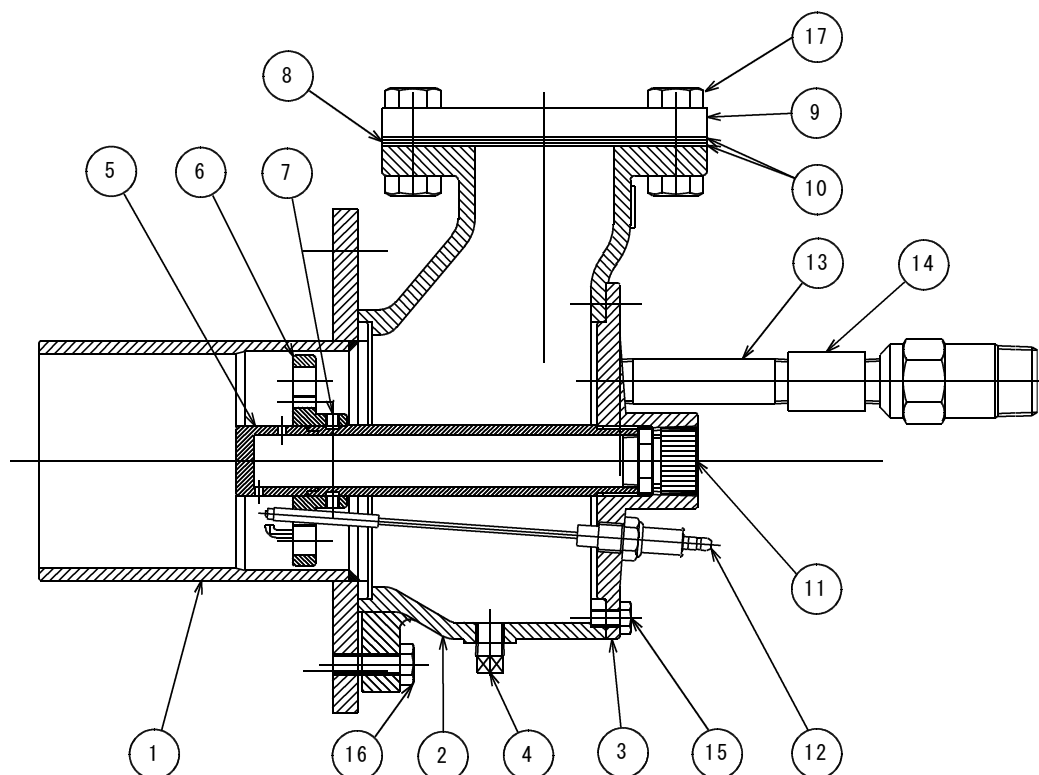
設置工事終了後は必ず附属の警告プレートをバーナー付近の見やすい位置に取り付けて下さい。
尚紛失した場合は速やかに弊社営業部までご連絡下さい。

トラブルと思ったら

※　バーナー及び各周辺機器類の点検に際しては、
　　それぞれに付属する取扱説明書等を熟読の上、行って下さい。

※　その他ご不明な点は弊社営業部までお問い合わせ下さい。

TEL.052-736-0773
FAX.052-736-0258

構 造 図

ＭＪ型　メタルジェットガスバーナー

NO.	部品名	個数	備考
1	フレームコーン	1	
2	エアーボディ	1	
3	ガスボディ	1	
4	プラグ　R1/4	1	
5	ガスパイプ	1	
6	エアーノズル	1	
7	六角穴付ﾎﾞﾙﾄ M6×15L ﾅｯﾄ付	4	
8	エアーオリフィス	1	
9	JIS5k エアーフランジ	1	
10	シートパッキン	2	
11	サイトホール S-15	1	
12	点火プラグ M14×1.0	1	
13	長ニップル	1	
14	ソケット	1	
15	六角ボルト　M8	4	
16	六角ボルト	4	
17	六角ボルト ﾅｯﾄ付	4	